

共通語教育の先駆者

# 遠藤 熊吉

えんどう くまきち

出身地 横手市（旧増田町）

1874年（明治7年）～1952年（昭和27年）

富永岩太郎に師事し、共通語教育の大切さを認識。

雄勝郡内の小学校教師となり、その実践に努力。方

言を愛しつつ、優れた共通語の確立に取り組む。著

書に『言語教育の理論と実際』『方言訛音矯正法

の一斑』がある。



## 年譜

- 1874年 横手市（旧増田町）に生まれる。
- 1894年 東京大八洲学校、翌年・東京国語伝習所卒業。
- 1896年 西成瀬尋常小学校准訓導。
- 富永岩太郎に師事し、共通語教育に取り組む。
- 1900年 西成瀬尋常小学校長。
- 1909年 湯沢尋常高等小学校長。
- 1919年 西成瀬尋常高等小学校長。言葉の母親学級誕生。
- 1927年 東条操・神保格らに師事し、方言研究に着手。
- 1928年 東成瀬尋常高等小学校長。
- 1952年 横手市（旧増田町）で没。78歳。